



学校評価特別号

平成27年3月



学 校 だ よ り

京都市立西大路小学校

校 長 岩坂 隆志

TEL 313-0501

FAX 313-4912



平成26年度後期学校評価

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートを分析し平成26年度の取り組みについて評価します。

○保護者アンケート集計結果

		前期 7 月			後期 2 月		
	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	家でしっかり学習をしていますか。	6.4	4.5	22.4	6.4	4.2	24.3
	家で読書をしていますか。	6	3.6	26.4	6.2	3.4	28.5
	学習の内容が理解できていますか。	6.7	5	20.1	6.7	4.6	22.8
豊かな心	あいさつをしていますか。	6.9	5	20.7	6.8	4.9	21.1
	学習や生活のルールを守り、規律ある行動ができていますか。	6.5	4.5	22.8	6.8	4.8	21.8
	たてわり活動などで他学年の児童と温かいかわりを持つことができますか。	6.5	5.6	15.6	6.6	5.1	19.1
健やかな体	安全に気を付けて登下校ができていますか。	6.5	5.5	16.3	6.9	5.7	15.9
	元気よく体を動かして遊んでいますか。	6.5	4.7	21.5	6.7	5.3	18.1
	早寝・早起き・朝ごはんなど、望ましい生活習慣ができていますか。	6.4	4.3	23.7	6.7	4.9	20.8
地域	地域のお祭りや行事に参加できましたか。	5.8	5.1	16.8	5.6	4.9	17.4
	地域の方のお世話になる学習(地域探検、お祭り、栽培、伝統産業……)に積極的に取り組んでいますか。	6.1	5.1	17.7	6	5.5	15

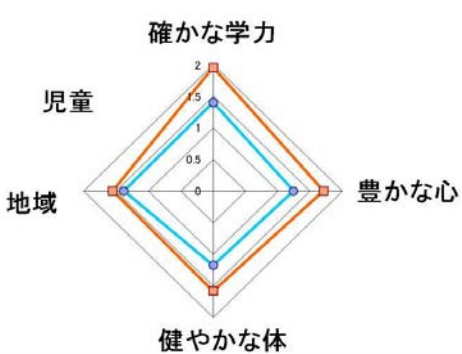
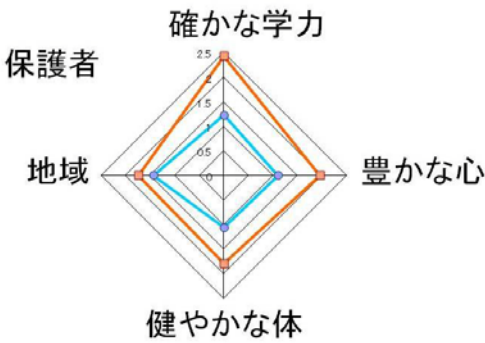
「重要である，よくできている」を7，「やや重要である，出来ている」を5，「あまり重要でない，あまり出来ない」を3，「重要でない，出来ない」を1として平均を算出しました。

ニーズ度は，《重要度×（8－実現度）》です。最高ポイントは49になります。重要だけでも出来ないというニーズ度が高くなります。

○児童アンケート集計結果

		前期 7 月			後期 2 月		
	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	しっかりべんきょうしていますか。	6.2	5.4	16.1	6.2	5.1	18
	ほんをよくよんでいますか。	5.7	5.5	14.3	5.8	4.5	20.3
	べんきょうがわかりますか。	6.2	5.3	16.7	6.3	5.4	16.4
豊かな心	あいさつをしていますか。	6.4	5.9	13.4	6.6	5.3	17.8
	がっこうのきまりをまもっていますか。	6	4.6	20.4	6.6	5.5	16.5
	たてわりかつどうなどで、いろいろなともだちとのしくすごしていますか。	5.8	5.1	16.8	6.2	5.7	14.3
健やかな体	あんぜんにきをつけてとうげこうができていますか。	6.4	6	12.8	6.8	6.3	11.6
	げんきよくからだをうごかしてあそんでいますか。	5.8	5.2	16.2	6.5	5.9	13.7
	はやね・はやおき・あさごはんなどができていますか。	5.7	4.4	20.5	6.6	5.2	18.5
地域	ちいきのおまつりやぎょうじにさんかできましたか。	5.9	6.3	10	6	5.5	15
	ちいきのかたのおせわになるがくしゅうにたのしくとりくめましたか。	6.3	6.4	10.1	6.3	6	12.6

○レーダーチャート（「重要である，よくできている」を3，「やや重要である，出来ている」を2，「あまり重要でない，あまり出来ていない」を1，「重要でない，出来ていない」を0として平均を算出しました。外側が重要度内側が実現度です。）



「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく伸ばしていきたいと考えていることが分かります。「確かな学力」カテゴリーで実現度が少しポイントを下げています。「健やかな体」カテゴリーでは，実現度の少しポイントが上がっていますが，前期と後期で，大きな変化は見られません。

後期から，マイブック・マイバックなどの取り組みをはじめ，また，たくさんの児童が 100 冊読書を達成していますが，読書の習慣化には結びついていないと考えられます。

○保護者自由記述欄より

確かな学力に関する内容

- ・家庭では、集中して学習することが大切であることを教えた。
- ・家庭学習をやりたがらない。
- ・だらだらとしていて、寝る時間も遅くなっている。
- ・楽しいことしかしないので、楽しくない学習でもがんばって取り組んでほしい。
- ・理解度が低いので困っている。
- ・のびのびタイムなどで教えていただいて理解できるようになっている。
- ・担任によって評価の仕方が違うと感じる。
- ・成績を点数で判断される先生と態度を重視される先生がある。

豊かな心に関する内容

- ・あいさつができていない。自分からきちんとあいさつができるように声かけしていきたい。
- ・学校の様子をあまり話したくない。教えてほしい。
- ・学区が狭く、遊びがマンネリ化してくる。

健やかな体に関する内容

- ・校内の安全を徹底してほしい。インターホンが設置されたので、門をすぐに閉めるようにしてほしい。
- ・放課後の時間の楽しみが見つけられるといい。

地域に生き、地域の伝統と文化を受けつぐ子に関する内容

- ・伝統文化を学ぶ授業では、「本物の厳しさ」を教えていただいた。
- ・お世話になった地域の方に感謝の気持ちを忘れず、地域や伝統を大切にできる大人に育ってほしい。
- ・茶道を体験でき楽しく学ぶことができました。
- ・いろいろな行事で優しくしていただき喜んでいます。
- ・さまざまな体験活動をしていただき大変喜んでいます。
- ・地域の方から学ぶ学習は今後も続けていってほしい。
- ・親でも先生でもない地域の方に優しくときには厳しく教えていただいてありがたく思っています。
- ・これからも子ども達に地域のことや昔遊びなど教えていただければ嬉しいです。
- ・総合的な学習がとても楽しかったようです。
- ・地域の方が教えに来て下さっていることを当たり前のように思っている子どもがいます。仕事をしながらわざわざ来て下さっているということをもっと教えてやってほしいです。もっと感謝してほしいです。
- ・野菜作りのご指導を地域の方にしていただき素晴らしいです。

その他

- ・地域の行事などが土日であり、休日ぐらいは家族で過ごしたいという方も多くいる。また土日仕事をしておられる方も多くなってきて、委員や役員の負担が大きい。
- ・学校での生活のことが分かりにくい。
- ・アンケートが答えにくい。

学校関係者評価（3月3日の学校運営協議会理事会で出たご意見）

- ・今の時代は、いろいろな事件があり情報も多く、若い保護者の方は、不安になって学校での様子を知りたいと思うのだと思うが、学校からの情報は、以前よりも確実に多くなっているし、いつでもオープンで、学校での様子を知りやすくなっている。
- ・子どもには、子どもの社会があって、完全にはつかみきれない。情報が多いと言って安心できるものでもない、学校、保護者、地域の信頼関係が大切である。
- ・子どもの社会のすべてを知ることは出来ない。子育ては大変だけれども、自分の教育方針に自信を持ってほしい。
- ・親が忙しくなって、子どもと接する時間が少なくなって、不安なのではないか。
- ・HP へのアクセスが増えている。そこを切り口に親子での会話を増やしていけばいいが、話さない子は、話さない。でも、それも個性であり、成長するに従ってコミュニケーション力もついていくものである。
- ・「はばたき学習」子どもたちがとても楽しみにしている。西大路小学校でしかできない学びである。
- ・6年生の松栄堂の見学では、見学態度がよかったので、工場の機械の近くまで入ってもらうことができた、会社の方に褒めてもらった。紹介者として誇らしかった。
- ・「感謝の会」での子どもたちの参加態度が素晴らしかった。あれだけの長い時間、私語もなく、立ったままでしっかり話を聞いていた。視線に感謝の気持ちも感じるあたたかさがあった。
- ・全校集会などでも、子どもたちが互いの発表をよく聞き、自分の言葉で感想を言うことができる。小さい学校だからこそつけられる力である。
- ・地域の方が学校にたくさん入りこんで、大変な紙の濃い学習ができています。小さい学校だからこそできる西大路の強みである。
- ・地域の行事が充実しているので委員や役員の負担が多いということは分かるが、役員をして学校に来ることで、教職員と話す機会が増えその中で、自分の子どものことも良くわかるようになる。
- ・昔は、本校も大変な時があった。開かれた学校になって、地域みんなで育てる意識が広がってきて地域のつながりができてきた。それが今の落ち着いた西大路小学校を作っている。
- ・茶道の指導を見せてもらったが、「子どもだからこのぐらいでいい。」というような姿勢で教えない。本物を伝えるという熱意が子どもを育てるのだと思う。妥協しないことも大切だ。
- ・「子どもが話しをしてくれない。」と思ったら、自分の生活を見直してほしい。夫婦間の会話はどうか。家族の中で自分が話しているか。コミュニケーションのある家庭環境を築いてほしい。
- ・学校運営協議会の活動については、これまで通り地域で取り組んできていることの取りまとめで的な立ち位置で行く。
- ・西大路では子どもたちは手厚い支援を受けている。支援がなくてもがんばることができる子ども、しんどいことにも立ち向かっていくことができる子どもを育てたい。そのためにときには、わざと苦勞をさせることも必要だ。そして西大路地域を支える人になってほしい。
- ・地域の自治活動をもっと子どもたちに知ってほしい。自主防災訓練などにも参加させてみたい。